



家きん飼養農場における飼養衛生管理の 全国自己点検結果

今月、全国の家きん飼養農場（愛玩を除く）について実施した、飼養衛生管理基準の自己点検の結果がまとめ、農林水産省ウェブサイト公表されました。

どの項目も約1割の農場で守られていないようです。現在、全国各地の野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されるなど、環境からの侵入リスクが高まっています。守られていない項目について至急改善をお願いします。

全国遵守率

項目		採卵鶏	肉用鶏	その他の家きん	合計		
13	衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒（専用手袋着用）等	97%	95%	93%	96%		
14	衛生管理区域への病原体の侵入防止	衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用	91%	89%	91%	90%	
15		衛生管理区域に立ち入る車両消毒等	91%	86%	92%	89%	
20	衛生管理区域内における病原体による汚染拡大防止	人	家きん舎に立ち入る者の手指消毒（専用手袋着用）等	89%	92%	92%	90%
21			家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用	85%	93%	83%	88%
24		野生動物	野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕	92%	90%	84%	91%
26			ねずみ及び害虫の駆除	95%	97%	95%	96%

守られていない項目があった農場については、1月に再度、点検状況を確認します。

項目13～15により衛生管理区域への病原体の持込防止措置を図りますが、家きん舎への侵入リスクはゼロとなるものではありません。残存する病原体を家きん舎へ持ち込むことを防止するため、①衛生管理区域に入る時の消毒等→②家きん舎に立ち入る時の消毒等、の2段階の持込防止措置をお願いします（消毒薬設置、手袋着用、家きん舎専用靴に交換、等）。

また、**侵入リスクは規模の大小にかかわらずません。愛玩で飼養している方も、飼育場所への病原体持込み防止を徹底してください。**

国内家きん農場の高病原性鳥インフルエンザ発生状況(12/23日時点)

徳島県で今シーズン初めての発生がありました。

都道府県	市町村	飼養状況		疑似患畜判定日	患畜判定日	病原性	亜型	
29	徳島県	阿波市	採卵鶏	約1万羽	12/19	12/20	高	H5N8
30	宮崎県	宮崎市	肉用種鶏	約1.4万羽	12/19	12/21	高	H5N8
31	香川県	三豊市	肉用鶏	約2.6万羽	12/23	検査中		H5

家きんを飼育する「農場」は12/31までに消毒を！

【対象】 飼養羽数100羽以上の家きんの飼養農場、及び100羽未満であっても家畜保健衛生所長が消毒を実施する必要があると認める農場※

※農場：生産物（卵、鶏など）を出荷しているところ

消毒実施後、鶏舎周辺、農場周囲・辺縁等を写真撮影し、
1週間以内に当所へ報告してください（※切 R3/1/8）

【報告内容】 ①農場名 ②実施日 ③消毒実施状況がわかる写真
(鶏舎周囲・農場外縁) 枚数不問

【報告方法】

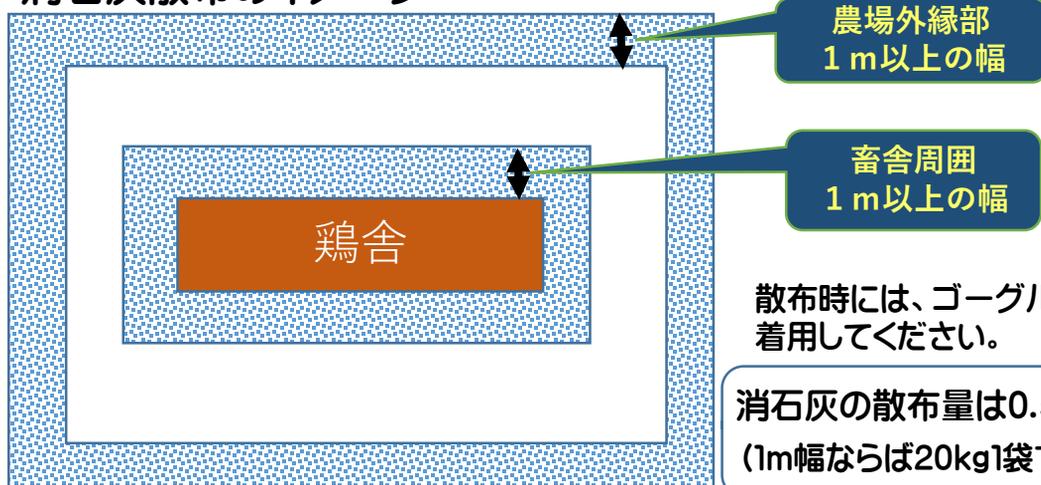
①郵送 〒296-0033 千葉県鴨川市八色52

②FAX 04-7092-1434

③メール nanbukaho@pref.chiba.lg.jp

(携帯電話で撮影した写真で可。3MB以上は受信不可のため画像サイズを縮小してください)

消石灰散布のイメージ



散布時には、ゴーグル、マスク、手袋等を着用してください。

消石灰の散布量は0.5~1.0kg/m²を目安
(1m幅ならば20kg1袋で20~40mの長さ)

！農林水産省からの注意喚起！

【消毒などの飼養衛生管理基準の再徹底をお願いします】

「今シーズンの高病原性鳥インフルエンザは、過去に経験のない規模（12県30件、346万羽）で発生しています。また、全国各地の野鳥の死体からウイルスが次々に見つかっており、全国どこで発生してもおかしくない状況にあります。今月、都道府県が実施した家きん飼養農場における飼養衛生管理の自主点検調査では約1割の農場で守られていない項目がありました。守られていない項目が1つでもあると農場へのウイルスの侵入を許してしまうことにつながりますので、壁の穴を埋めたり、農場・畜舎の入退場時には手指・長靴の消毒や専用の衣服への着替えなどを行うことが必要です。どのように対応したら良いか分からない時は最寄りの家畜保健衛生所に相談ください。自分の地域では絶対に発生させないとの強い意志を持って、地域の関係者みなさんで取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。」

南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304 FAX 04-7092-1434

※休日、夜間は転送されますので必ず5回以上のコールをお願いします。